



沖縄戦から80年
TUFS Cinema 映画『骨を掘る男』無料上映会を開催
～40年以上遺骨収集を続けてきた具志堅隆松氏を追う
ドキュメンタリーから学ぶ～

東京外国語大学（東京都府中市、学長：春名 展生）は、沖縄戦から80年を迎えた2025年の今年、沖縄戦の戦没者の遺骨の収集を40年以上にわたって行ってきた具志堅隆松さんの活動を追ったドキュメンタリー映画『骨を掘る男』を上映します。同作品の奥間勝也監督を招き、本編上映後には、トークセッションも行います。



沖縄ドキュメンタリー上映会

上映作品：『骨を掘る男』

上映後、奥間勝也監督による解説付き

沖縄戦から80年の2025年、TUFS Cinema 初回は奥間勝也監督の「骨を掘る男」を上映します。凄惨な地上戦後も基地の島であり続けてきた沖縄で、地中に残された遺骨は何を訴えているのか。40年以上遺骨収集を続けてきた具志堅隆松氏を追うドキュメンタリーから学びます。

日時：2025年5月30日（金）18:00 開映（17:20 開場、20:40 終了予定）

会場：東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール
（東京都府中市朝日町3-11-1）

プログラム：

- ・映画『骨を掘る男』本編上映（115分）
- ・上映後解説／トーク 奥間勝也（監督）
司会 上原こずえ（東京外国語大学 大学院総合国際学研究院 准教授）

その他：入場無料、先着501名、事前登録制 <https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc250530form/>

主催：東京外国語大学

協力：合同会社 東風

○上映会に合わせ、写真展「土砂と遺骨をつなぐ」も開催予定です。

日時：同5月30日（金）

会場：東京外国語大学 アゴラ・グローバル 上映会場入り口付近で展示

入場料：無料、予約不要

添付資料：上映作品情報、監督プロフィール 写真全て（C）Okuma Katsuya, Moolin Production, Dynamo Production

<本件に関するお問い合わせ>東京外国語大学 広報・社会連携課（担当：高坂）

TEL：042-330-5151 FAX：042-330-5140 E-mail：koho@tufs.ac.jp



上映作品

『骨を掘る男』

【あらすじ】 本作品は、沖縄戦の戦没者の遺骨の収集を40年以上にわたって行ってきた具志堅隆松さんの活動を追ったドキュメンタリーである。砕けた小さな骨、茶碗のひとかけら、手榴弾の破片、火炎放射の跡。地中から拾い集めた断片から、その人の最期に想いを馳せ、弔う。この行為を、具志堅は観念的慰霊ではなく「行動的慰霊」と言う。映画作家の奥間勝也監督は、具志堅さんの遺骨収集に同行し、沖縄戦で亡くなった自身の大叔母の生きた痕跡を沖縄戦のアーカイブ映像に探しながら、悼むことの意味を問う。

【本作について】 沖縄本島には、激戦地だった南部を中心に、住民や旧日本軍兵士、さらには米軍兵士、朝鮮半島や台湾出身者たちの遺骨が現在も眠っているとされる。だが、戦没者を追悼する場としてあった沖縄本島南部は、米軍新基地建設のための埋立資材の採掘場になろうとしている。沖縄県内、そして全国各地からも抗議の声があげられるなか、奥間勝也監督は繰り返し自問する。「出逢ったことのない人の死を悼むことができるのか？」 その問いはやがて、「平和の礎」に刻銘された24万の名を読み上げるいくつもの〈声〉と共鳴し、戦火の時代を生きる私たちに問いかける。どうすれば遠く離れた人の痛みとともにあることができるのか？ 『ギフト』や『ラダック それぞれの物語』を制作した新進気鋭の映画作家が、自らが生まれ育った沖縄の歴史と現在を見つめる。（東京外国語大学 准教授 上原 こずえ（専門：島嶼社会論、社会運動史、沖縄現代史））

【作品情報】

監督・撮影・編集：奥間勝也

整音：川上拓也 カラリスト：田巻源太

音楽：吉濱翔 共同製作：ムーリンプロダクション、Dynamo Production

製作：カムトト 出演：具志堅隆松

配給：東風 受賞歴：日本映画撮影監督協会 2024年度第33回 JSC 賞

2024年／日本・フランス／115分／日本語／英題 Close to the Bone

ゲスト



奥間 勝也 監督

1984年沖縄県生まれ。映像作家。琉球大学大学院修士課程で文学を学んだ後に上京。沖縄を舞台に制作した中編映画『ギフト』（11）がニヨン国際ドキュメンタリー映画祭（Visions du Reel：スイス）や山形国際ドキュメンタリー映画祭など国内外で上映される。北インド・ラダック地方で撮影した『ラダック それぞれの物語』（15）は山形国際ドキュメンタリー映画祭アジア千波万波部門で奨励賞を受賞。WOWOW「いま甦る幻の映画『ひろしま』～受け継がれていく映画人の想い～」（15）では全日本テレビ番組製作社連盟 ATP 賞最優秀新人賞を受賞。本作『骨を掘る男』で日本映画撮影監督協会・2024年度第33回 JSC 賞を受賞した。

TUFS Cinema 沖縄ドキュメンタリー映画上映会

Close to the Bone

骨を掘る男

上映日 2025年
5月30日【金】

18:00上映開始（開演17:45）終了予定20:00
17:45開演前特設上映（17:45開演前）

場所 東京外国語大学
アウラ・グローバル・フロア・ホール
東京都千代田区千代田1-11-1 国際本館5階 地下1階（地下1階）

上映時間 115分

上映後解説 イニーク
奥間勝也 監督
司会 上原こずえ 東京外国語大学

主催 東京外国語大学TUFS Cinema
東京外国語大学国際日本研究センター
はなはな文化財団

共催 合同会社 東風
東京外国語大学多言語多文化共生センター

入場無料
事前登録は
こちら
https://www.tufs.jp/department/cinema/

※観覧料がなくても事前登録した
方が優先ですが、事前にご登録
いただいたメールアドレスにご入場いた
だきます。
定員を超えらる場合は、事前登録を済
ませた方を優先させていただきます。

【お問い合わせ】
東京外国語大学 広報・社会連携課
TEL 042-330-5441
E-mail: info@cinema.tufs.ac.jp
※映画『骨を掘る男』の上映は、
TUFS Cinema のウェブサイトにて
お知らせいたします。